

逃げ上手若君

トキメキアラカルハシ

鎌倉時代

守護 → 北條氏
國司 → 北條派的貴族
最大實力 → 北條郎黨諏訪氏
一國上下堅如磐石

第27話 一心赴死 1334

まつい ゆうせい
松井優征

鎌倉滅亡後

後醍醐天皇任命
守護和國司
割裂了諏訪氏的勢力

守護

國司

諏訪氏

壓迫

反抗

諏訪神黨
保科彌三郎

守護 小笠原貞宗

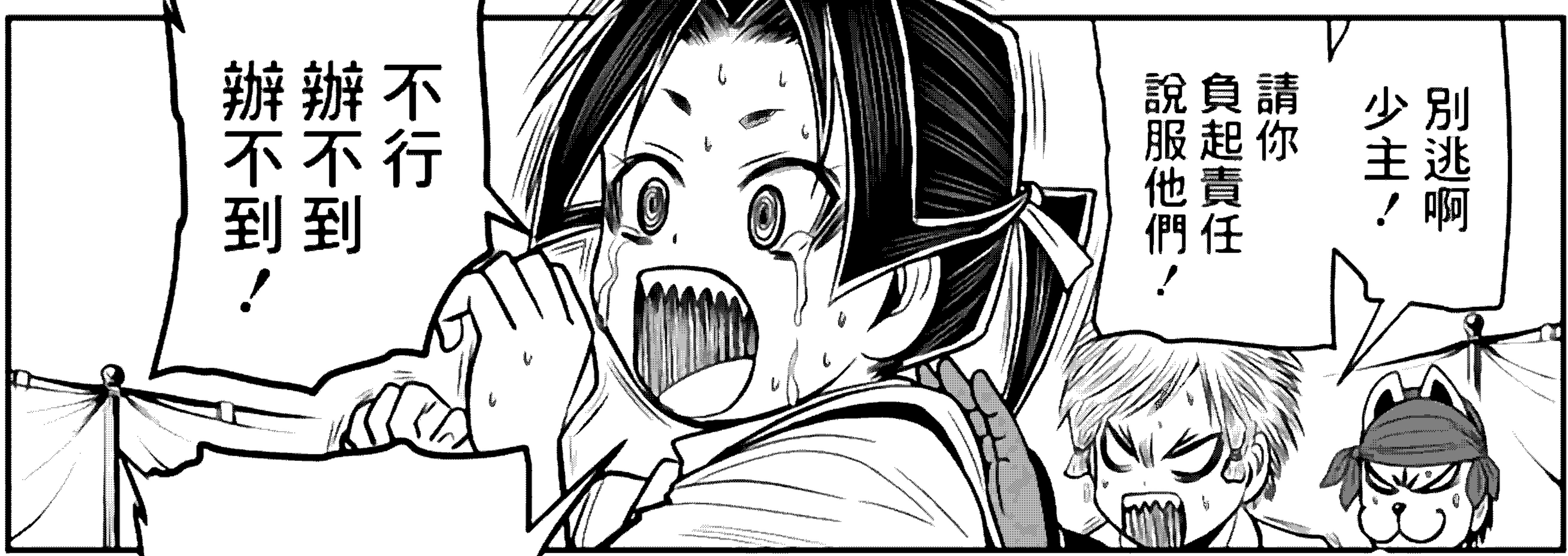
國司 清原信濃守

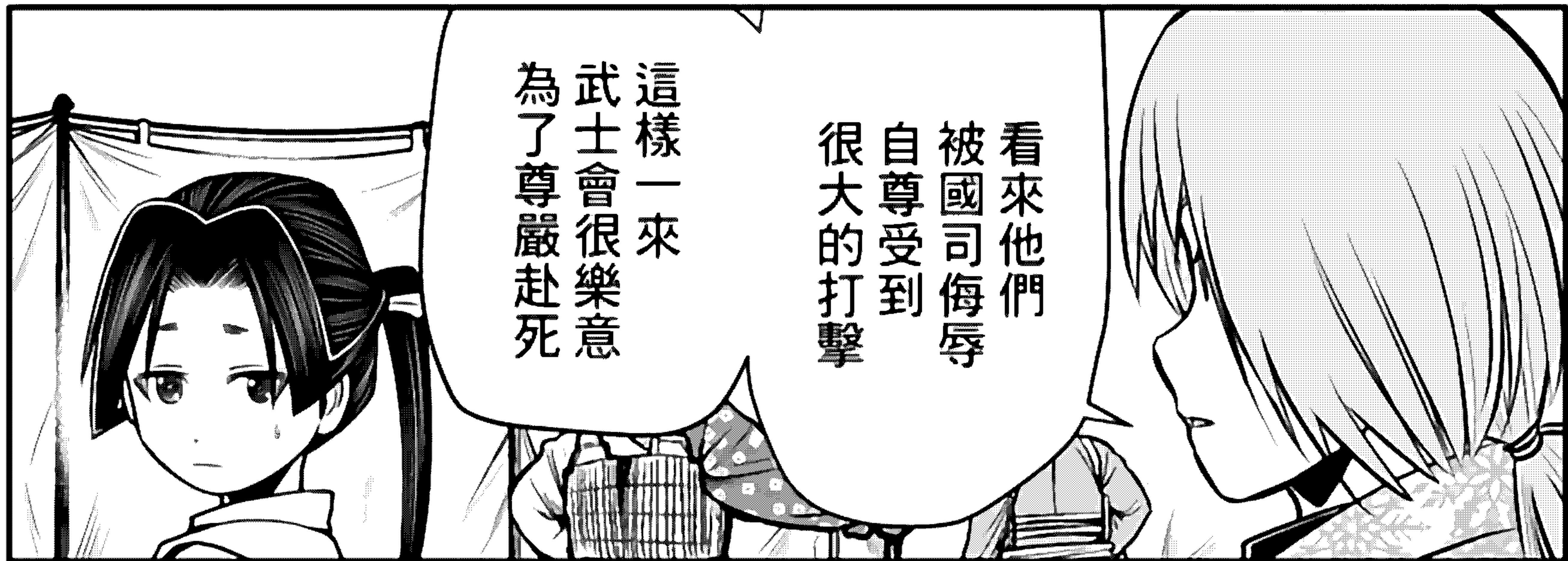
被後醍醐天皇賦予了
極大權限而得意忘形。
自然是反北條派。

信濃國勢力圖

諏訪氏

強勢一方
信濃的情勢





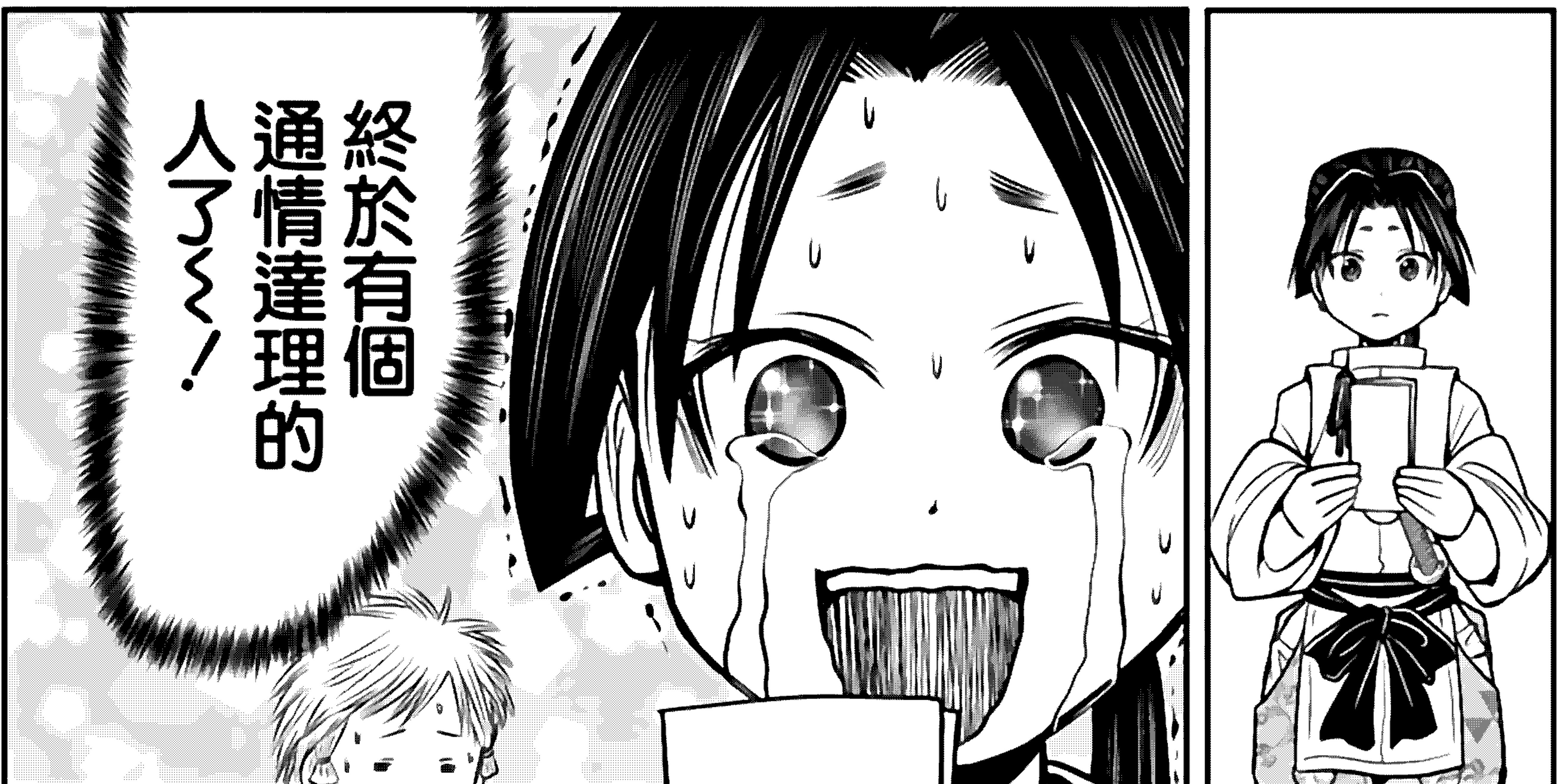
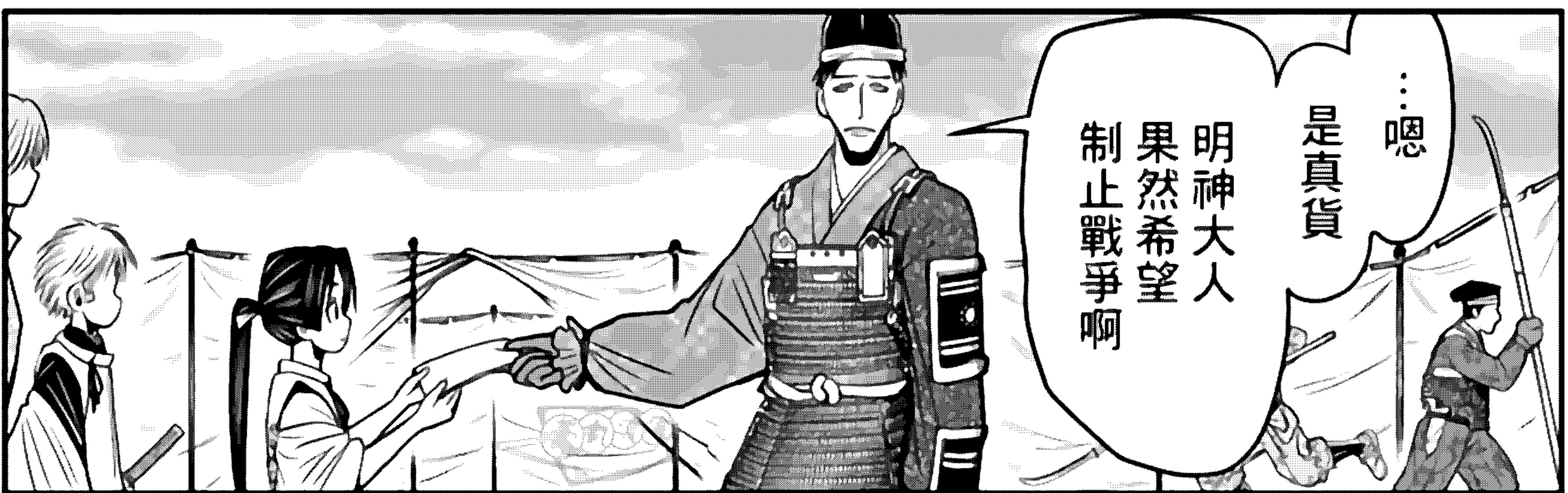
翻譯 我不做人了

@

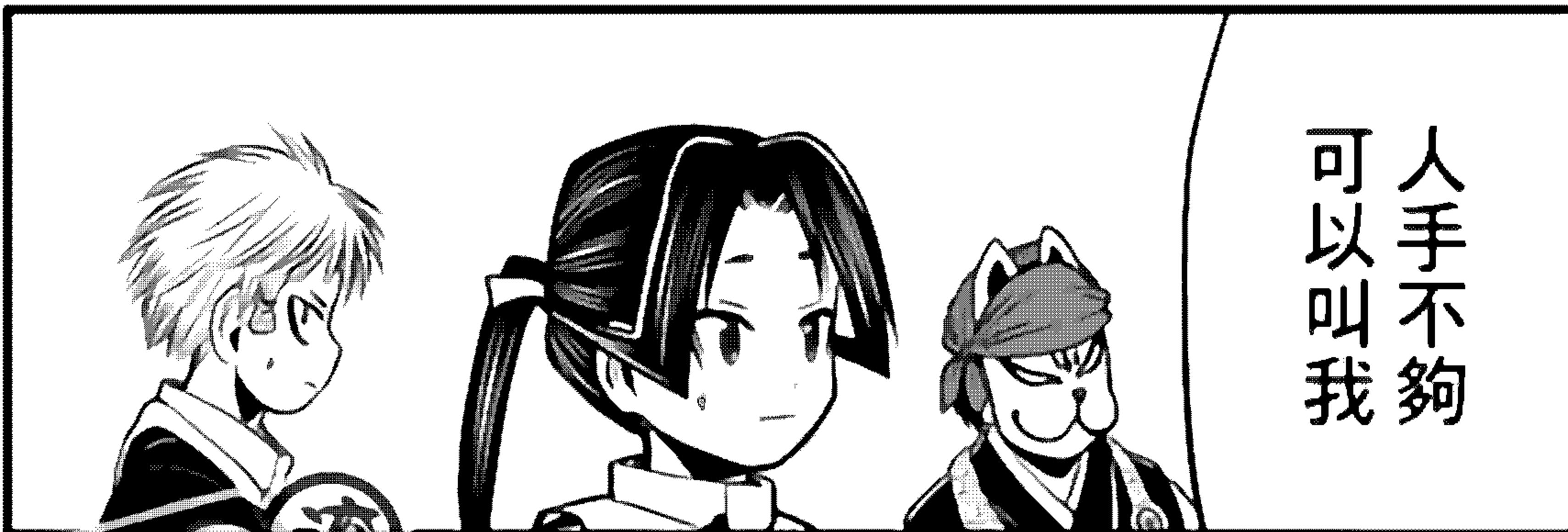




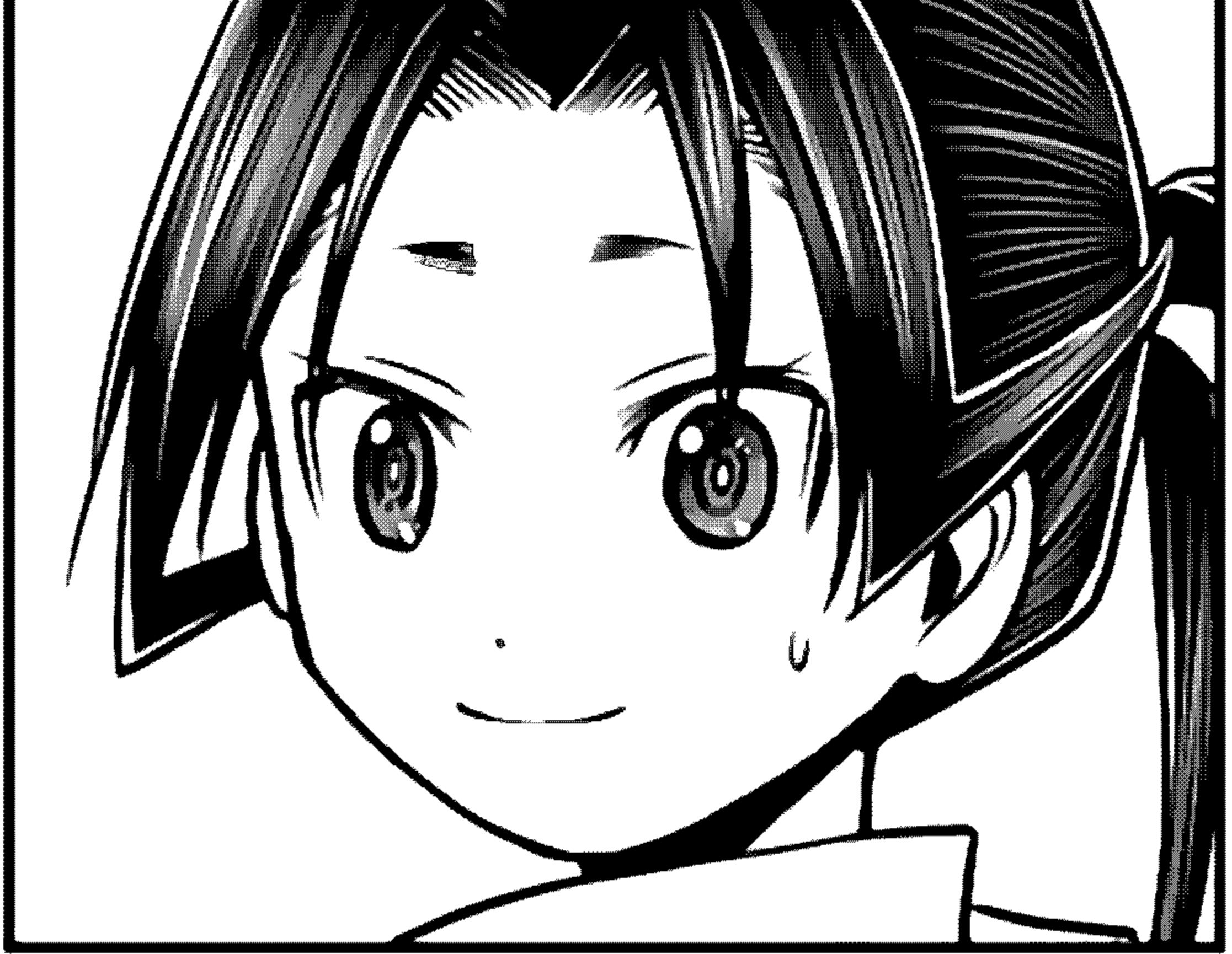
諏訪神黨
四宮 左衛門太郎



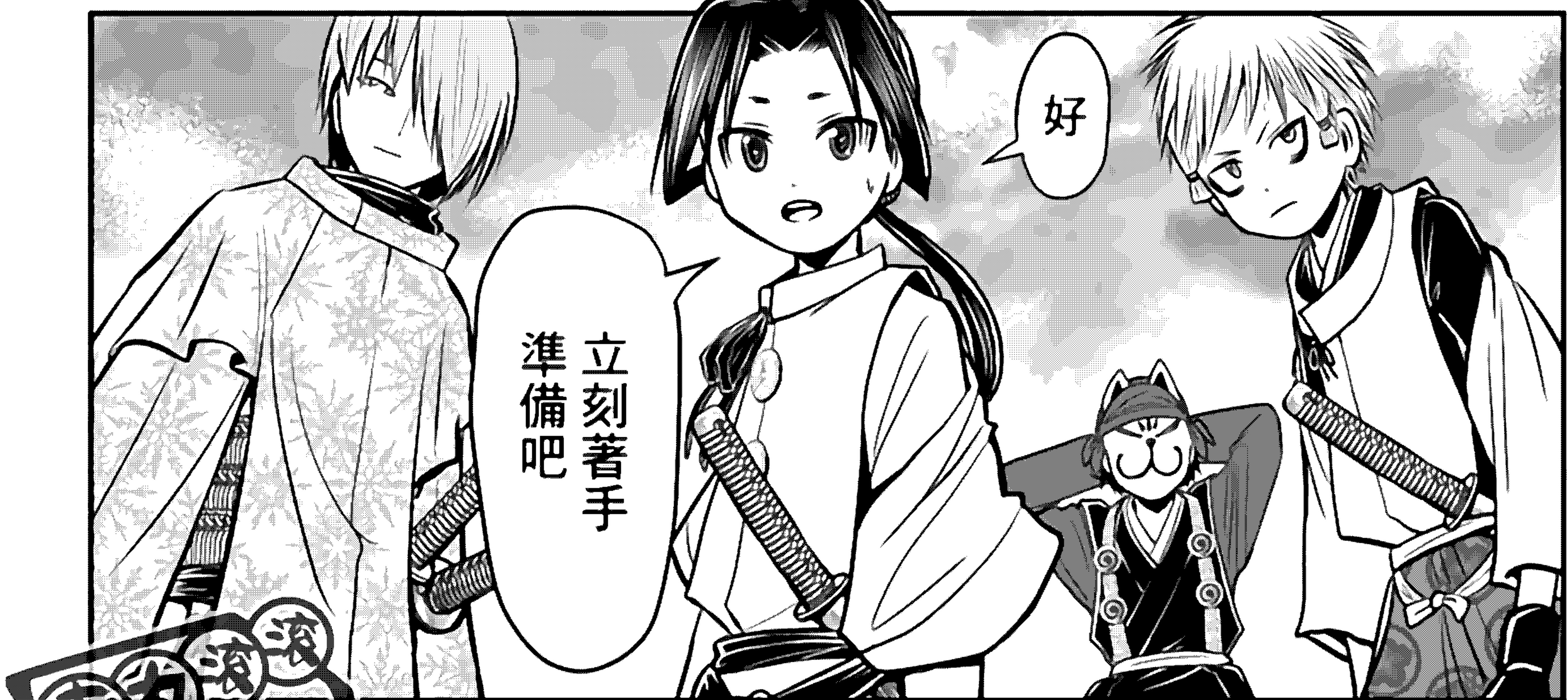








就算贏了





去吧
米丸！

來吧！

違抗
麻呂世界的逆賊
一律血祭！

全體
拉弓！

哦啦

國司直屬武士團長
米丸



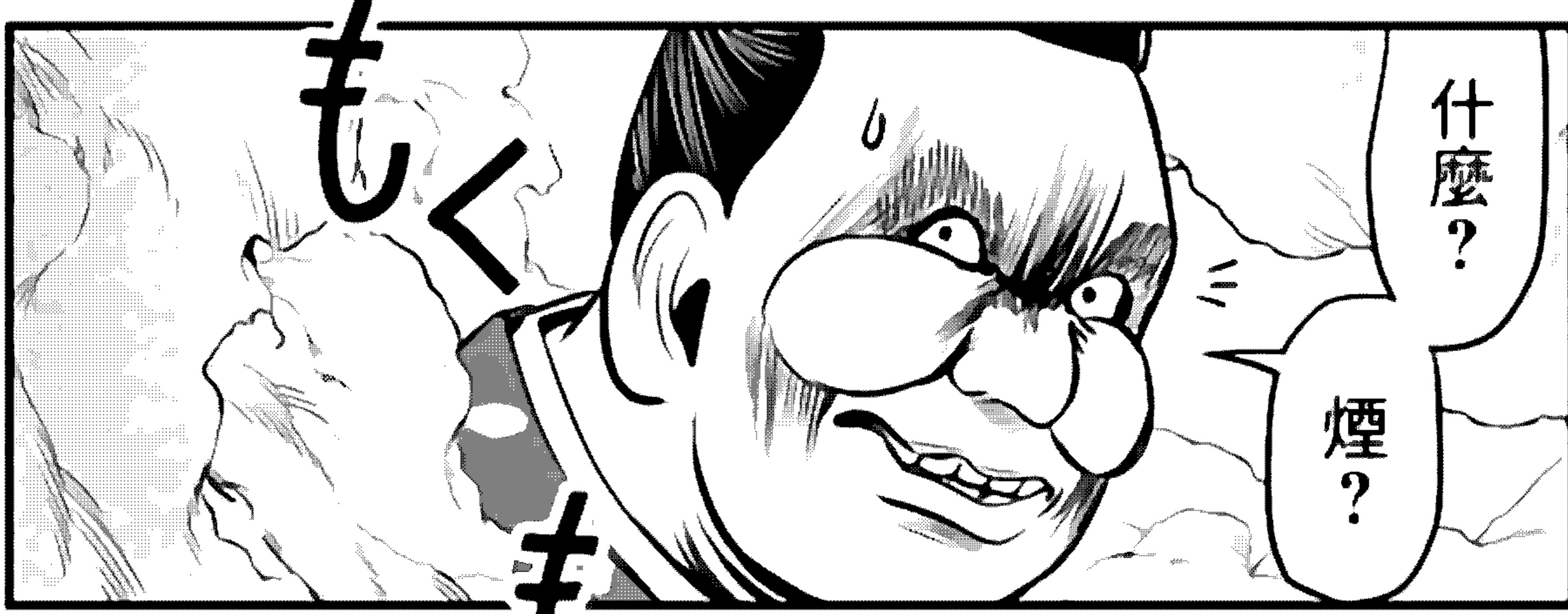
國司軍
攻過來了

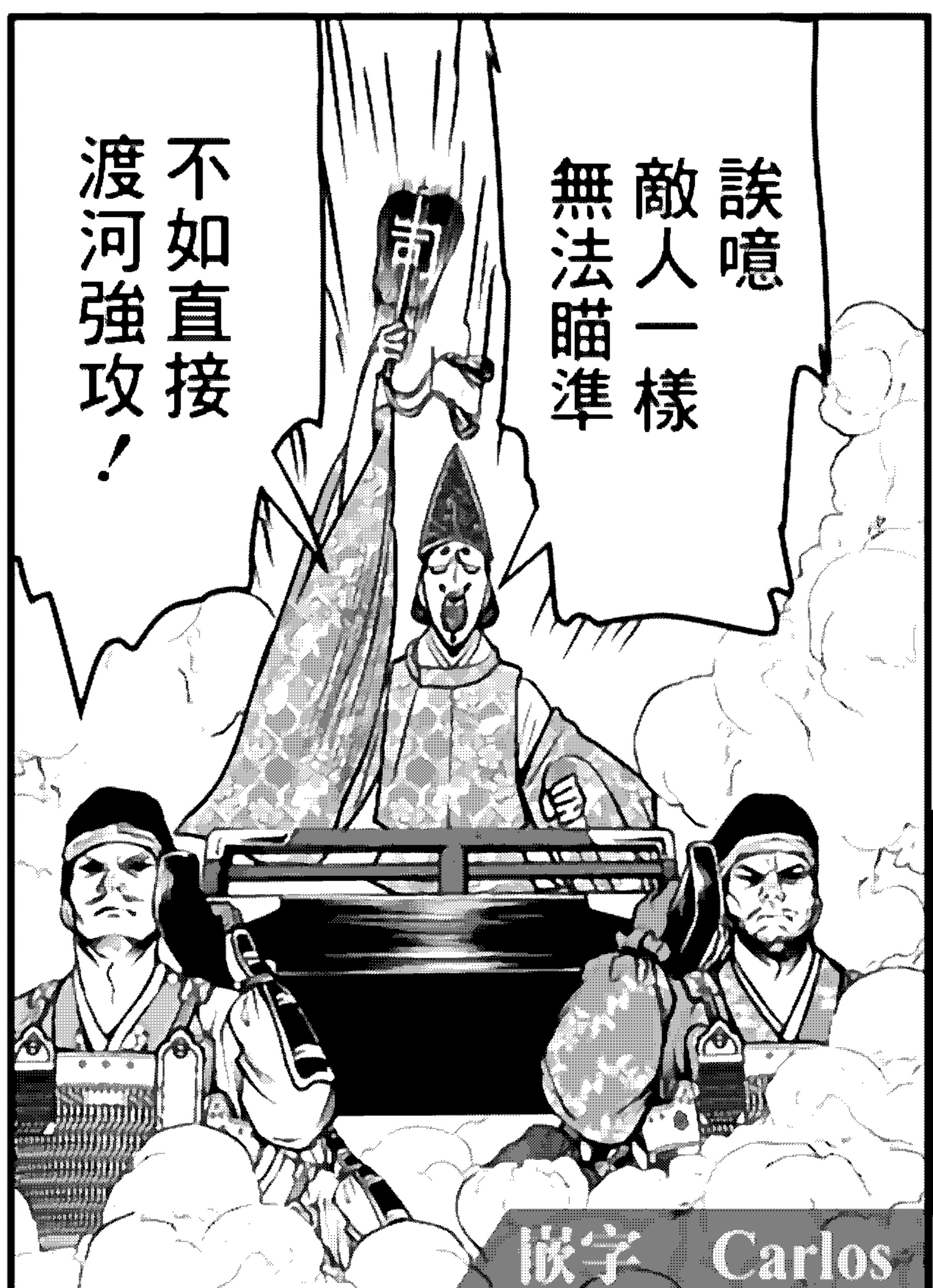
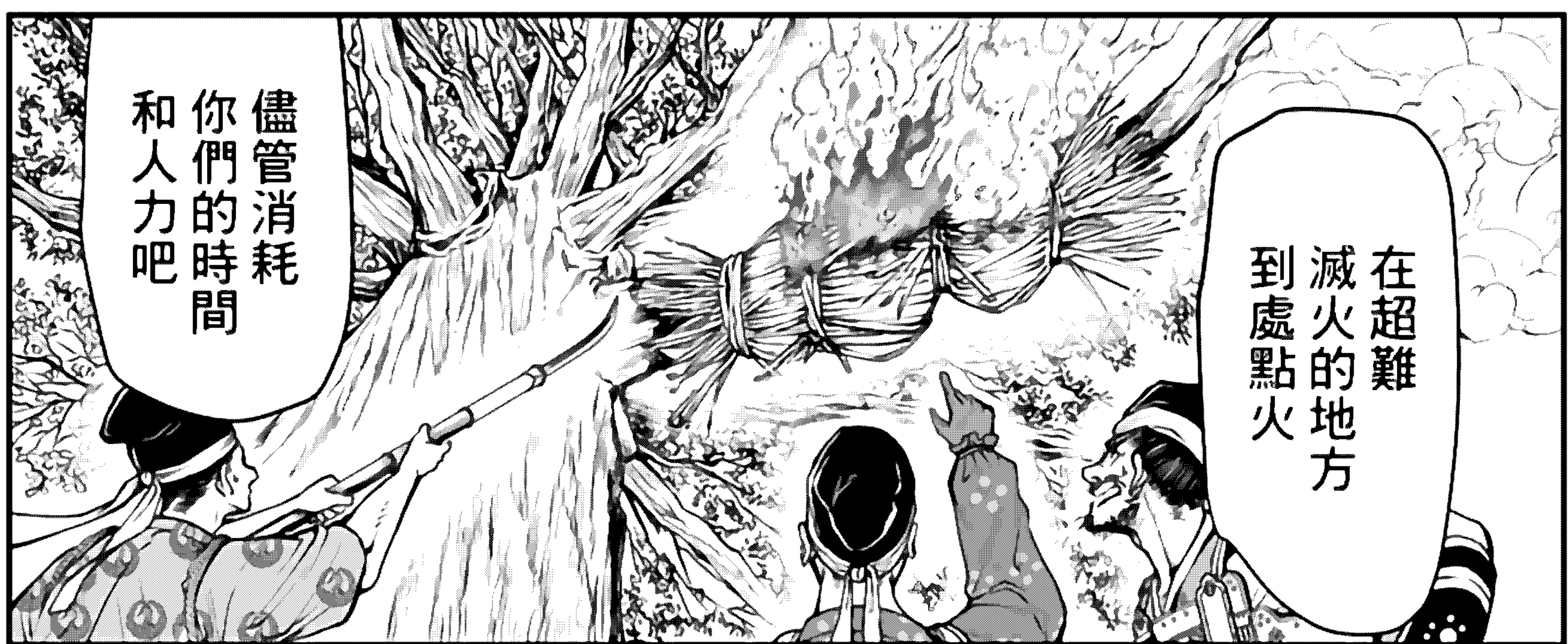
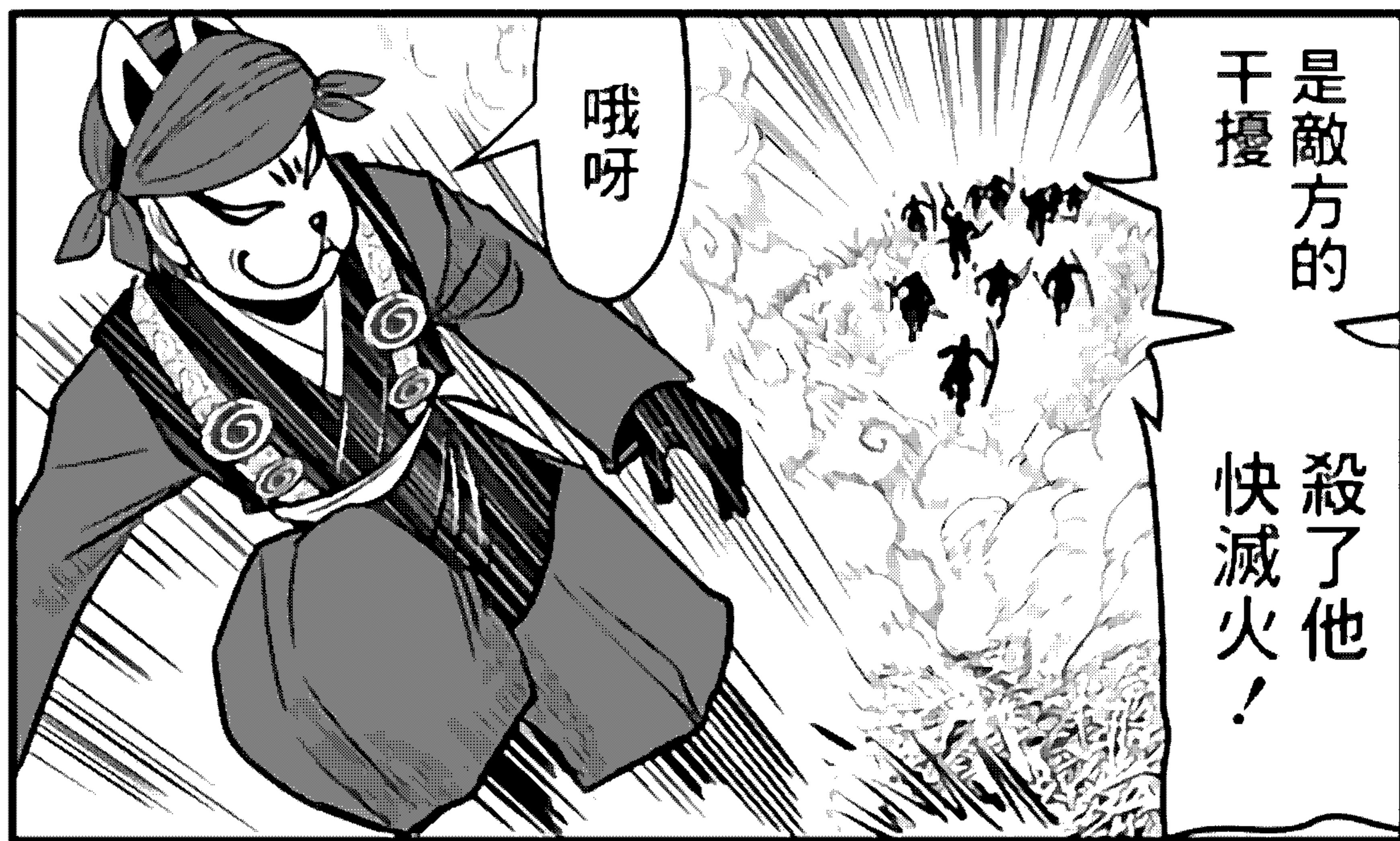
先是
約定俗成的
弓箭戰嗎！

用大量箭矢
削弱我方戰力

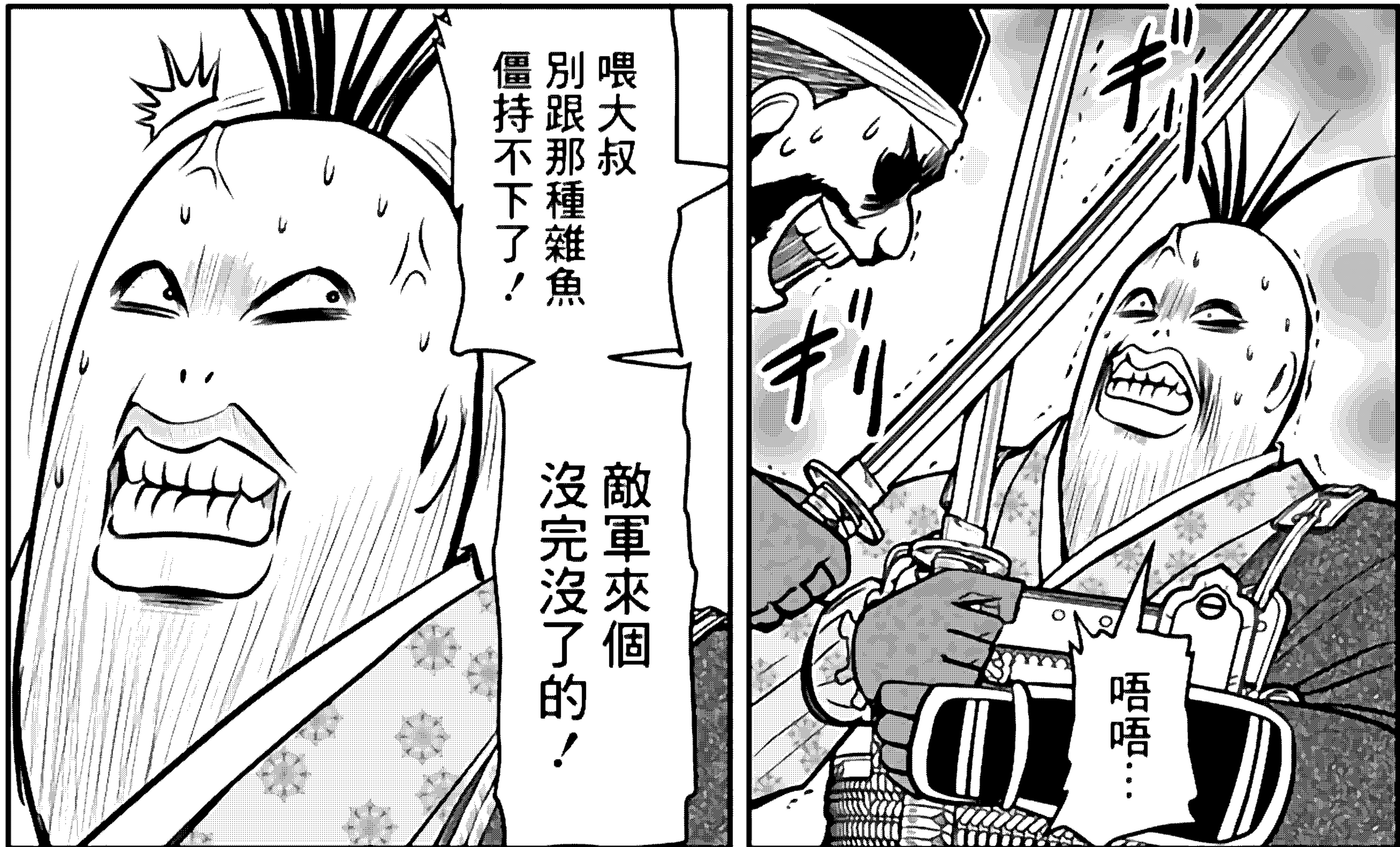
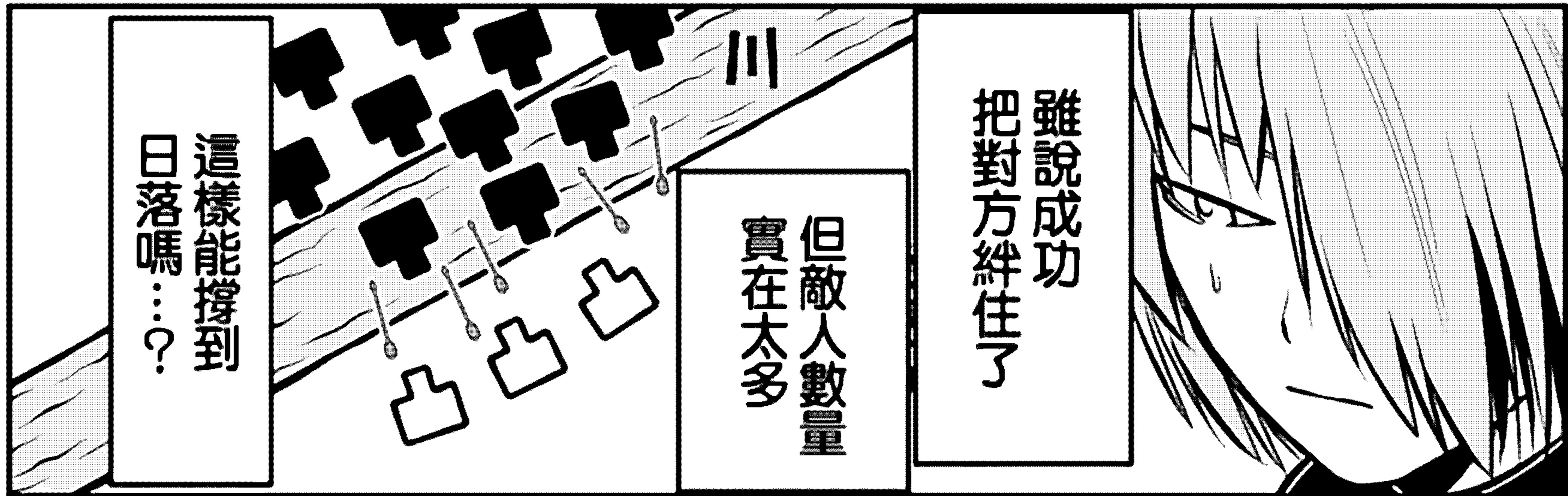
再橫渡淺灘
派大軍突襲！

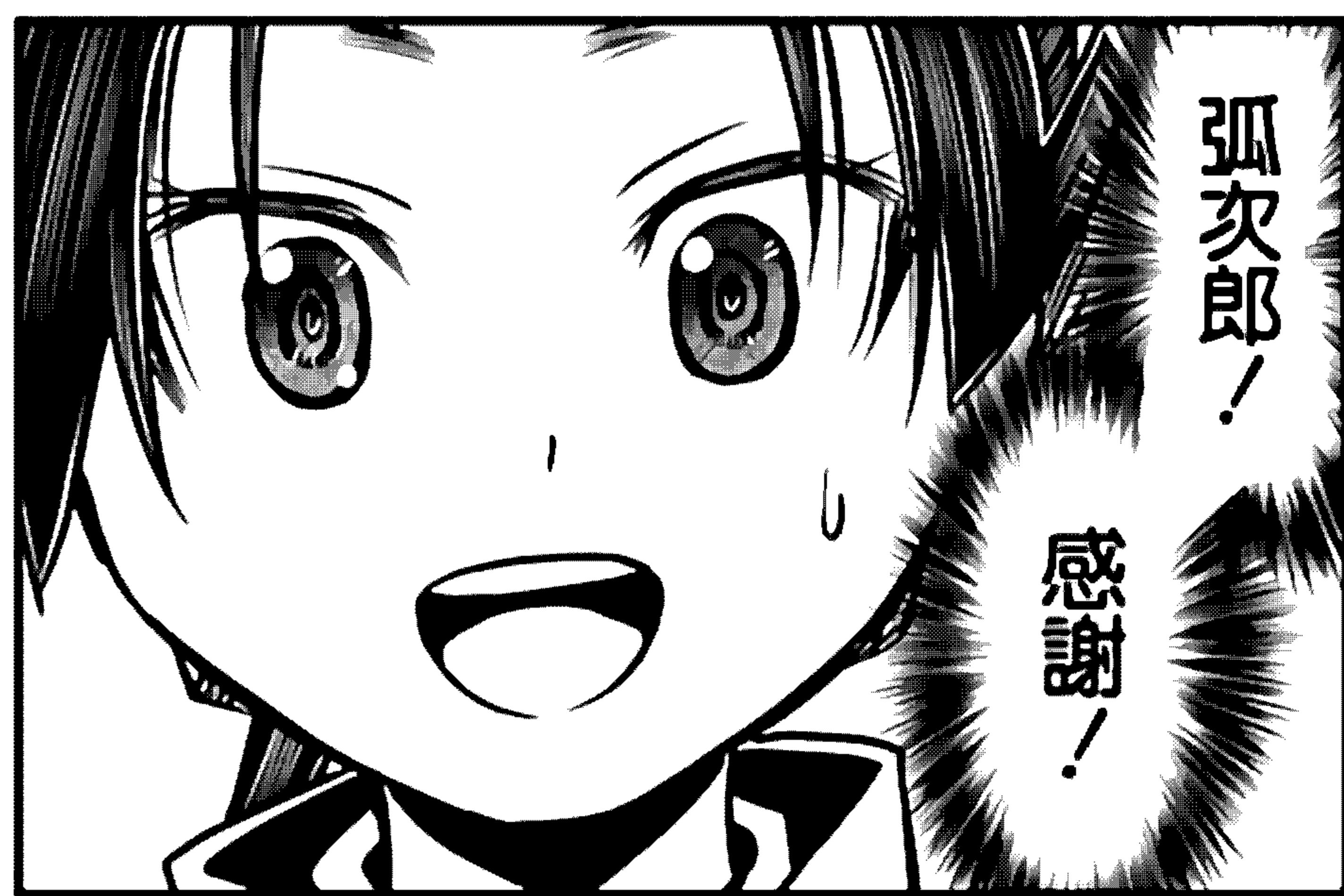
正好！
多一個
也要拉你們
陪葬！

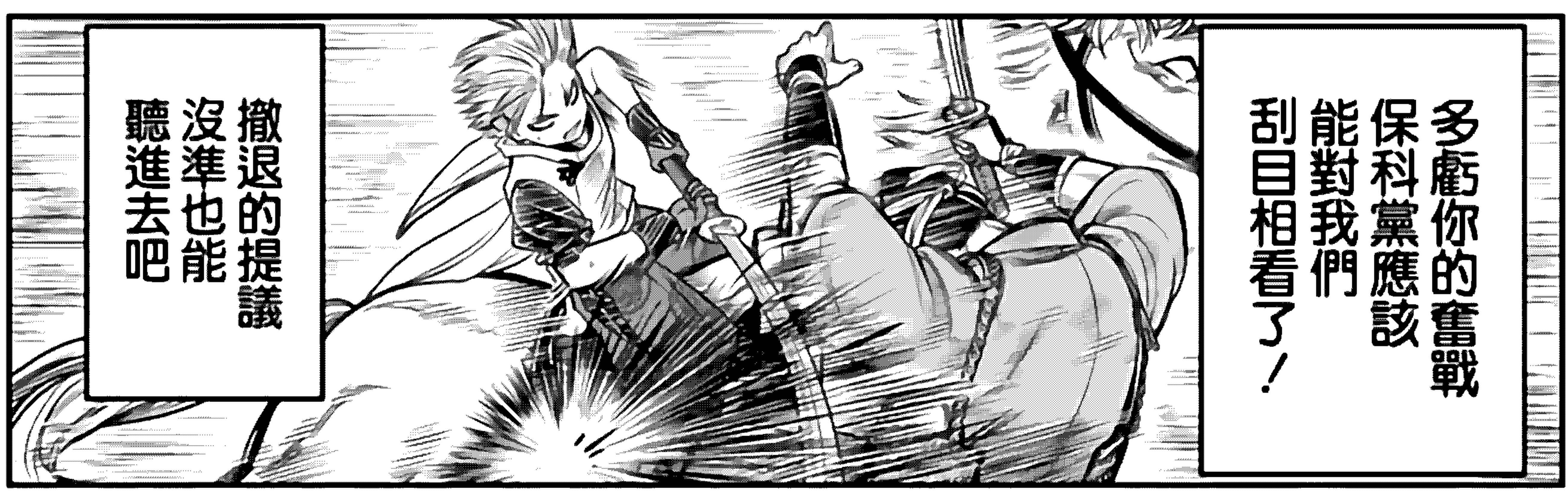












如何
美不勝收吧
御使大人!!

心懷喜悦
英勇赴死的
武士的面容!!

你以為

弧次郎是在
為誰拼命...

啊?

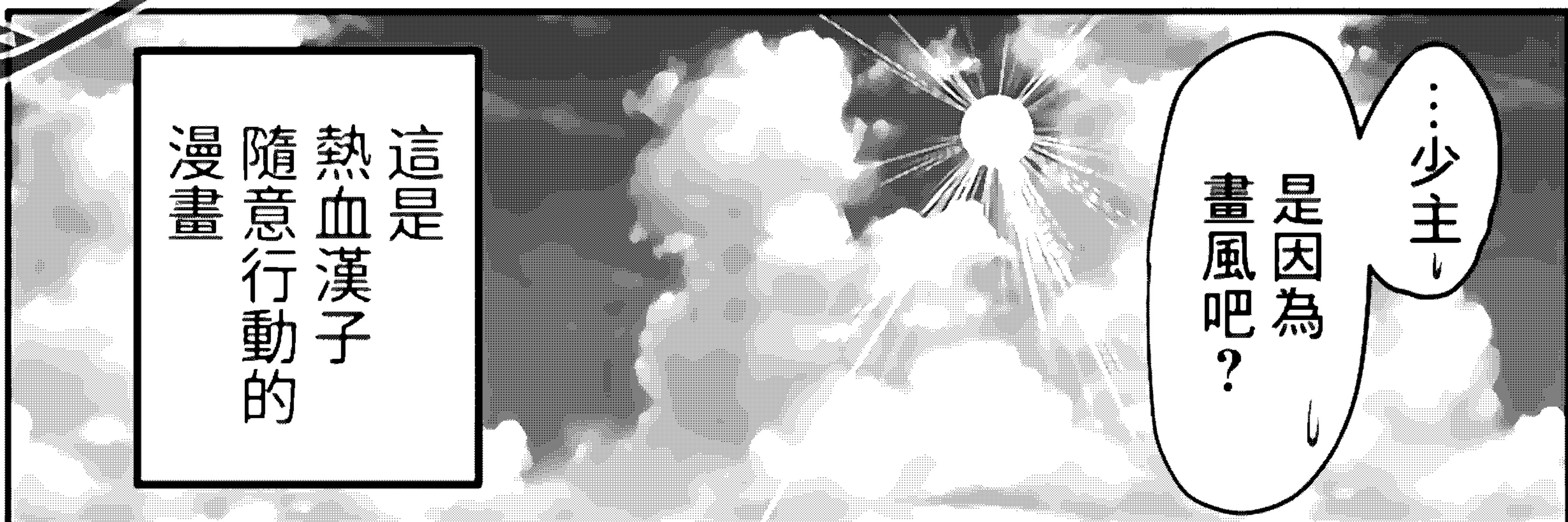
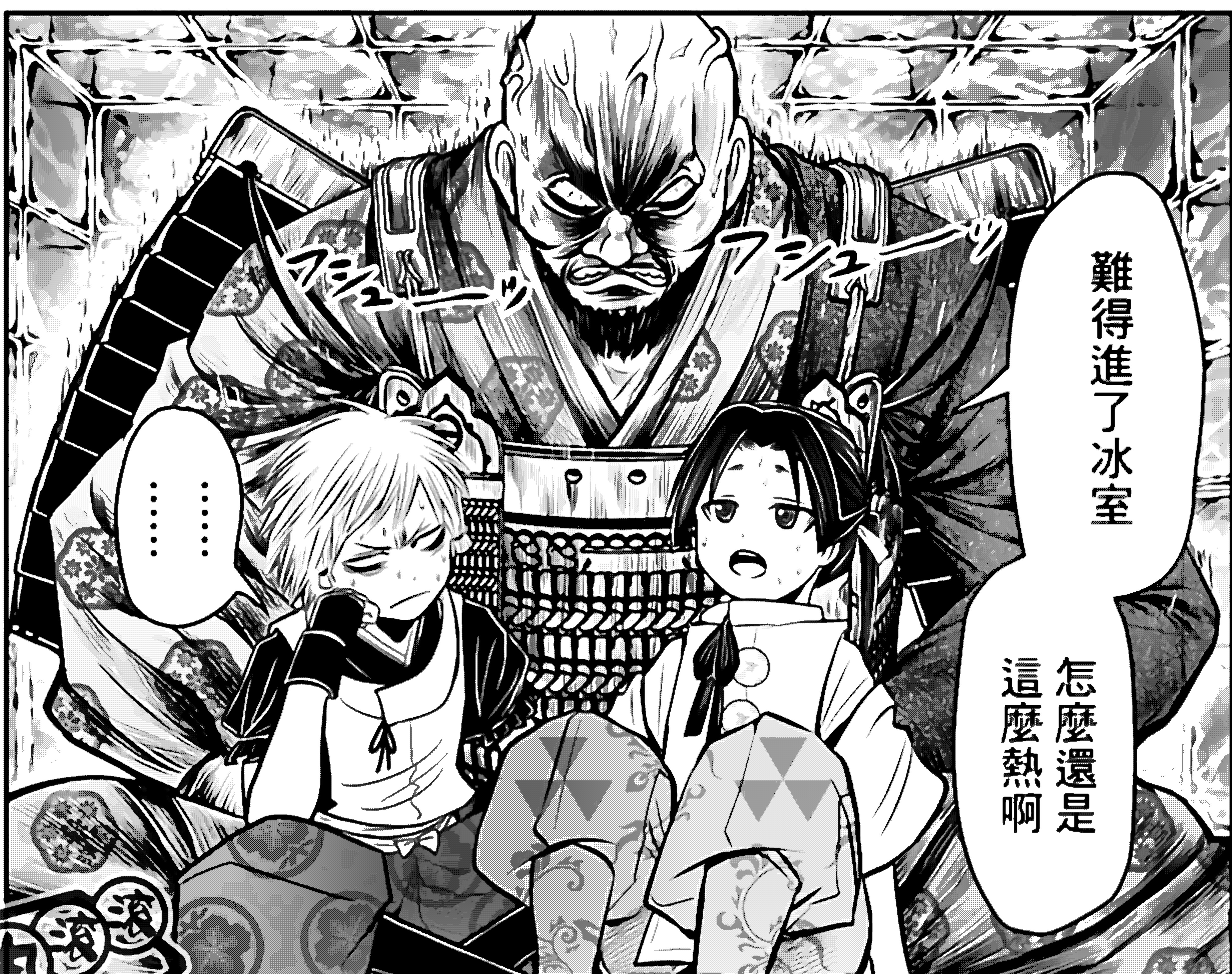
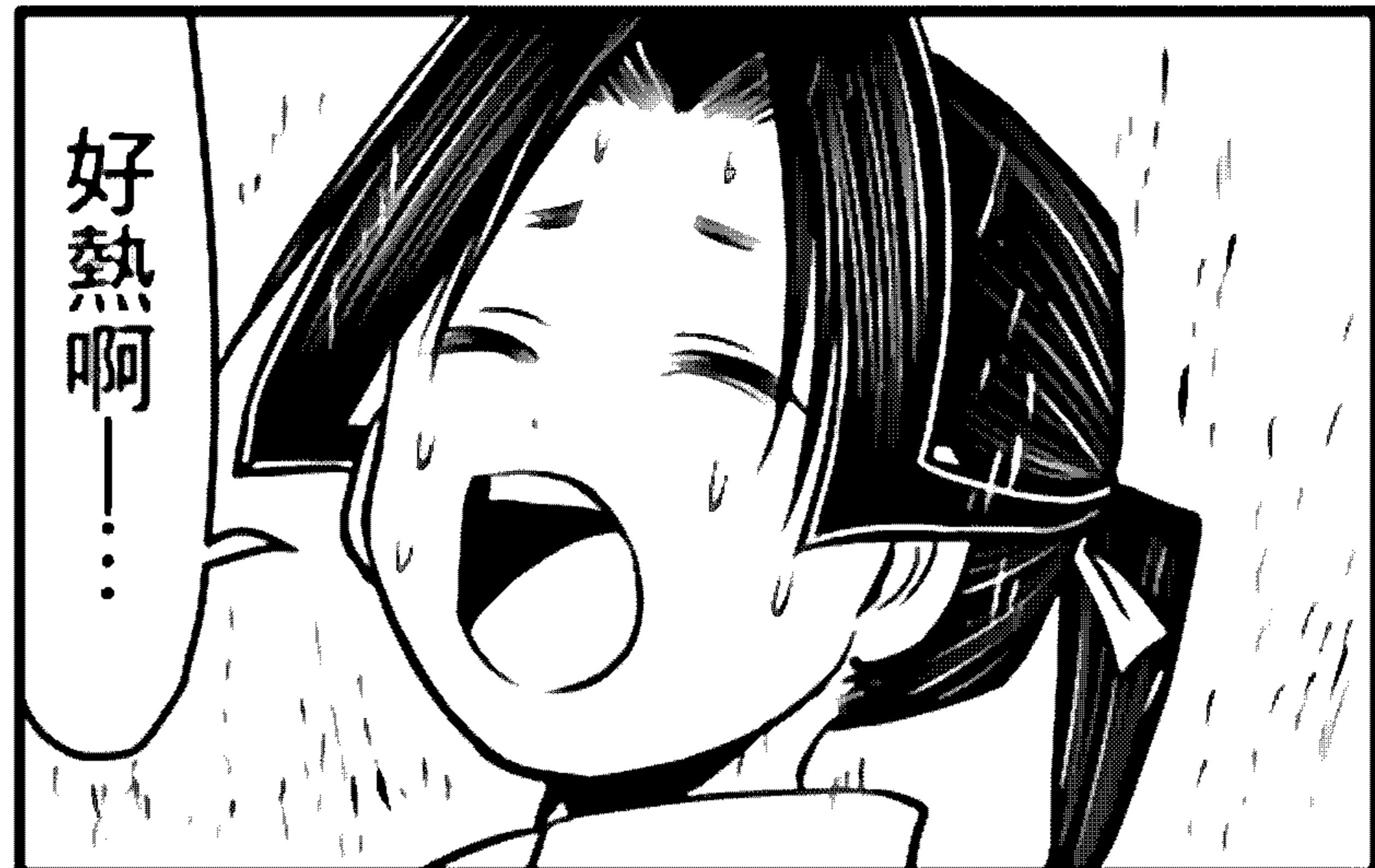




「少主溜得快」番外篇

まつい ゆうせい
松井優征

中世紀也正值酷暑。



這是
熱血漢子
隨意行動的
漫畫

…少主…

「少主溜得快」番外篇…完

角説上手若君

季節は春へと進み
二毛作収穫の時期。
二毛作ってなに？

解説 本郷和人

1960年 読書生まれ。歴史の研究者で
ある東京大学歴史博物館の教授。おっちょ
こちよいでのテレビや出版にも携わる。

二毛作について



大した
もんだな！

まずははじめに基本から。田んぼで米を育て、秋に収穫する。これが何といつても、農業の基本です。このメインの米の収穫が終わつた後にもう一度米を栽培するのが二期作ですね。それから、おおよそはなんですが、米とは異なる作物を作るのが二毛作、です。

二毛作は鎌倉時代から始まつたといわれています。逆に言うと、平安時代にはできなかつた。これはなぜか。1つめの理由はやはり農地の豊かさの問題です。ヨーロッパの小麦と異なり、稲という作物は苗床を作つて田植えを経て育てますので、運作障害がさほど

ではありません。とはいって、やはり耕地は次第に瘦せてくる。ですから、平安時代には二毛作はムリだつた。ところが鎌倉時代になると、犁や鍬を使って土を深く耕すようになります。これによって二毛作が可能になつた、というわけですね。

理由の2つめは農地が不足してきたからではないでしょうか。平安時代・鎌倉時代初めは、少し手を加えれば農地として具合の良い土地が手つかずであつた。ところが鎌倉時代も中期になると、現地の武士勢力が發展して、そうした土地はみな「開発済み」になつてしまつた。となると、農業生産力を上げようと思えば、今ある農地の収益性を高めるしかない。そこで二毛作という工夫がなされたといふことなんだと思ひます。



↑収穫風景を底上げしたにも関わらず、税としてもっていかれるとなると農民の心効がよくわかります。

翻譯

我不做人了

毒丸家家漢化

卷末語

>能讓川口老師讀到
真的不勝榮幸！
希望今後也能繼續
同台競技！！

校對

古今分殘丘

首發微博
②混成連合會

歡迎加入漢化

嵌字

CARLOS

測試群

648466051

順位 16 / 21
W J 2 0 2 1 N O . 35

少王治得快
第21話

監製

三十二